

第1回インクルーシブ教育講演会

12月11日 県立保健福祉大学の在原先生をお招きし、1学年・2学年を対象に「多様性を尊重する社会づくり」についてご講演をいただきました。

また、講演内容を踏まえて、「インクルーシブな学校づくり」について、生徒自身が考えました。

生徒の感想や考え（抜粋）

○1人1人が違うのはたしかに当たり前ののに、頭の良さ悪さ、障害を持っている方、と分けしてしまうのはきっと多くの人が経験したことあるし、私自身も少し共感できてしまうところがありました。今、私たちに必要なことは「思い込み」や「先入観」にとらわれないで人を深く知ってみようとする事です。見た目で判断してしまい、関わろうという事をさげやうとしてしまいがちだけど、いざ頑張って関わってみると、意外と相性が良かったり、実はいい人だったり、深く関わらないと知ることができないことって沢山あると思いました。今日の講演会の話聞いて、いかに多様性の尊重を大切にしないといけないか知れました。

○本日の講演会で知らなかったことをたくさん知れました。言葉を使えない人に対しての偏見がスクリーンで見たとおり「話しかけてもわからないはず」と思うため、自分から話しかけようと思えなくて引いてしまうってことが今までに一、二回ありました。でも勝手に決めつけてしまうのは違うなと思いました。またカテゴリー思考の問題についてのお話を聞いて、その人の人生を他の人が決めてしまうという言葉が響きました。少し障害を持っていても、1人の人間だし自分自身の人生は好きなように歩むべきだし今日のお話は自分の人生とも比較できてとても良い機会になりました。

